

令和6年度



# しもよねだ

第11号 令和7年1月8日(水)

## 「はじめて」の「初」と「はじまり」の「初」

～お正月によく目にする漢字の「初」～

校長 板津 英文

あけましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

冬休みが終わり、いよいよ後期の後半がスタートしました。昨日は、冬休み明け最初の登校日でした。学級では、冬休みの思い出が話題になったことでしょう。

私の家では、毎年、1月2日に必ず行うことがあります。「書初め(かきぞめ)」です。家族一人ひとりが、その年の目標となる言葉を毛筆で書きます。今年私が書いた言葉は、「積小為大(せきしょうだい)」です。冬休み前に紹介した言葉です。二宮尊徳さんが残した言葉でしたね。

### ◎「はじめて」の「初」

さて、「書初め(かきぞめ)」という言葉には「初」という漢字が使われています。4年生で学習します。「衣(ころも)」と「刀(かたな)」を合わせた漢字です。服をつくる時に最初に行うのが、布を切ることであることからこの漢字が使われるようになったそうです。この「初」という漢字ですが、お正月になると、あちらこちらで目にします。

初夢(はつゆめ)、初詣(はつもうで)、初日の出(はつひので)、初売り(はつうり)、…

「初夢(はつゆめ)」は、新しい年の最初に寝た日の夜に見る夢のことです。「初詣(はつもうで)」は年が明けてから初めて神社や寺院などに参拝することです。このように、お正月によく目にする「初」は、「はじめて何かをする」という意味であることが多いです。

みなさんの令和7年の「はじめて」は何にしますか。あなたのチャレンジを楽しみにしています。

### ◎「はじまり」の「初」

これに対して、「はじまり」を表す「初」もあります。こんな言葉があります。

初心忘るべからず(しょしんわするべからず)

これは、「はじまりの真剣な気持ちや決意を忘れてはならない」という言葉です。近い意味で「初志貫徹(しょしかんてつ)」という言葉もあります。みなさんで言えば、「4月に立てためあてや、やる気を忘れていませんか」ということになると思います。

個人のためあて、学級の目標など「はじまり」をもう一度思い返して、3月が終わるまでに実現、達成できるよう、もうひと踏ん張りできるとよいですね。